

ス～香川シームレスケア研究会の活動を通して～」と題してご講演いただきました。香川県における二次医療圏を超えた連携のあり方は地域連携クリティカルパス整備の遅れた大分県にとって大変参考になりました。



会場風景

ランチョンセミナーは岐阜県郡上市地域医療センター国保和良歯科診療所所長の南 温先生に「地域連携による包括的口腔ケアの実践～真の地域包括医療・ケア」と題してお話しいただき、地域包括ケアは介護だけが対象ではないこと、その推進のためには多職種が共通認識を持つことが鍵であることをお教えいただきました。

学術集会テーマを掲げたシンポジウムでは4名のシンポジストが登壇し、地域リハビリテーション、保健所、MSW、介護施設の立場からそれぞれが取り組んでいる地域連携、地域包括ケアの実績が報告されました。

また、一般演題も22題あって活発な討議、意見交換がなされました。

大分空港の近くとはいえ、決して利便性が良くはない当院で、職員総出の手作りの学術集会でしたが、参加者の皆様からは、充実している、おもてなしの心がこもっているなどのお褒めの言葉を多数いただくことができました。ひとえにご支援ならびにご協力をいただきました院内外の皆様のおかげと厚くお礼を申し上げます。

### 第13回香川支部学術集会

学術集会会長：総合病院坂出市立病院副院長 田岡輝久



会場風景

2014年3月1日(土)、坂出市民ふれあい会館2階ホールにおいて第13回香川支部学術集会を開催しました。「患者中心の質の高い医療を目指して～情熱と夢を持って～」をテーマ

に特別講演1題と一般演題25題の発表が行われ、126名の参加者が集まりました。

特別講演では医療法人社団和光会総合川崎臨港病院人材管理育成室 大水 美名子先生をお迎えし、「魅力ある職場環境創り～フィッシュ！哲学の導入～」と題してご講演いただきました。また、一般演題では5つのカテゴリー区分で14施設より25演題の発表があり、当初の予定時間を大幅に超える活発な意見交換が行われました。当支部

は、これからも香川県内の医療に従事する全職種が集い、研鑽できる場として機能していきたいと考えております。

本学術集会の開催にあたって、ご支援ご協力賜りました関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

### 第14回福岡支部学術集会

学術集会会長：飯塚病院改善推進本部長 福村文雄



会場風景

この度、日本医療マネジメント学会第14回福岡支部学術集会をテーマは「組織で取り組む医療の質と安全」と題しまして、飯塚市の麻生看護大学校において2014年3月1日(土)

に開催させて頂きました。

シンポジウム「医療安全教育を考える」には6名のシンポジストから先進的な取り組みの発表と熱のこもった討論が行われました。特別講演には、転倒転落事故に関する分野の第一人者である杉山氏による講演が行われました。一般演題(口演)は幅広い業務分野から29題を集め、それぞれに有意義な質疑応答が行われました。また、クリティカルパスは7題の展示があり、そのうち優秀クリティカルパス賞は参加者投票により2施設に贈られました。参加者数は、129名でしたが、医師、看護師、メディカル、事務系の多職種が幅広く参加していただき、活発な議論を重ねる中でさらに会員相互の強い連携が果たされたと思われま。

### 第8回兵庫県支部学術集会

学術集会会長：市立芦屋病院芦屋市病院事業管理者 佐治文隆

3月2日(日)10時より芦屋市民センターにおいて第8回学術集会を開催しました。メインテーマを「医療における安全マネジメント」とし、午前は本学会の理事長である宮崎久義先生による基調講演「安全は医療マネジメントの根幹～クリティカルパスの活用」の後、大阪大学大学院人間科学研究科教授 白井 伸之介先生による「ヒューマンエラーと事故防止～人の行動特性の観点から～」、慶應義塾大学大学院健康マネジメント科准教授 前田正一先生による「医療事故への対応～院内事故調査委員会～」の特別講演2題を行いました。神戸大学医学部附属病院感染制御部副部長 吉田弘之先生によるランチョンセミナー「アウトブレイクと医療安全」を挟んで、午後は3つの会場に分かれて一般口演を行いました。45題の演題が出され、参加者250人により熱心な討論が繰り広げられました。座長のスムーズな運営と参加者のご協力により16時15分に無事閉会しました。